

第四課 花見

—お花見する—

落語家：え～「世の中は3日見ぬ間の桜かな」、なんて申しまして、
世の中の変化の激しさを嘆きますが、、、、。

留学生1：ねえ、なんで世の中の変化と桜が関係あるの？

学生：ああ、それはね、世の中の変化の速さは、いつの間にか咲いて散る桜と同じように速いっていう比喻なんだ。

留学生1：なるほど。そういえば、本で読んだんだけど、桜って「パッと咲いて、パッと散る」ことから、潔い武士道精神の象徴のように思われているようだね。桜は日本的な花なんだね。

学生：うん、一般的にはそう考えられているんだけど、日本人が今のように桜に興味を持ちだしたのは、江戸時代からで、それまでは桜ってそんなに関心をもたれていなかったんだよ。

留学生1：そうなんだ。

学生：それにね、当時の桜は山桜で、今の桜、つまりソメイヨシノという桜は、明治時代に作られたものなんだって。

留学生1：へえ。

学生：ところで、もう花見はした？

留学生：ううん。

学生：じゃあ、今日は夜桜見物でもしましょうか？

4月5日清明節是許多人返鄉掃墓的日子。日本人掃墓大多是在8月お盆（おぼん）的時候。少數地區是新曆7月15日或是農曆7月15日。除此之外，春分、秋分前後（お彼岸）也是可以去掃墓的。掃墓時通常帶鮮花去。與我們最大的不同是先將水淋在墓碑上，將墓碑掃除乾淨。

春天賞花似乎已是人們例行的活動之一。春天花季一到總有許多人潮湧向陽明山賞花。陽明山有美麗的山櫻和吉野櫻，還有更多的杜鵑花。而在日本一提到賞花（花見 はなみ），就是賞櫻花。櫻花花期並不長，為了使大家不錯過賞花時節，氣象局會公布各地櫻花開的時期，即是所謂的桜前線（さくらぜんせん）。在櫻花樹下喝酒、唱歌、玩牌等是最常見的賞花活動。